

## 赤穂市立図書館アートワーク

「忠臣蔵と塩のまち赤穂」において、光との対話を楽しみながら、心地よく読書のできる空間づくりをめざした開放的な図書館。自由な回廊動線と立体的に配された光庭によって「公園のような図書館」が実現された。

ギャラリーとしての機能も持たせ、子どもや若者にいかに魅力的な図書館とするかを検討、そのためにアートは重要な媒体となっている。結果として、世界的に活躍するアーティストを起用することとし、絵本の読み聞かせスペースの窓は草間彌生（やよい）氏にデザインを依頼、館内の壁面には市民が寄贈した奈良美智氏の作品も設置された。

美しい建築とアート作品が相まって、市民の人気スポット、また内外から注目される図書館となり、「読書に集中できなくなるほど美しい」図書館の一つに選ばれている。

### 【作品に込めたアーティストのメッセージ】

草間彌生「水玉の銀河 2011」

水玉の銀河で遊みましょう。

水玉はいろいろな夢をあたえてくれます。

私は夜空の銀河は大好きです。

ねむるときは水玉を目の中に入れて、

良い夢をみますように天の神様におねがいします。

奈良美智「メルティングムーン」

日が暮れて丸い月が夜空に輝くとき、僕はいつも懐かしい気持ちになる。

犬がほえたり猫がないたりして、遊びつかれた子供たちの顔が、月の中にたくさん見える。